

日時：令和3年8月26日（木）

13時30分～15時40分

場所：大和信用金庫 八木支店 3階 第1会議室

第4回 檀原市教育施設再配置検討審議会

次 第

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1 開会 | 13：30～13：45 |
| 2 報告 | 13：45～14：05 |
| 白檀中学校区の再編に係る地元説明の状況について | 資料説明：5分程度
質疑応答：15分程度 |
| 3 議題 | |
| 1) 白檀南小学校・白檀北小学校の再編案について | 14：05～15：35 |
| 2) 再編を進めるにあたっての留意事項について | 資料説明：20分程度
質疑応答：70分程度 |
| 3) 今後の検討スケジュールについて | |
| 4 その他 | 15：35～ |
| 5 閉会 | ～15：40 |

・配布資料

次第

資料 00_本検討審議会の委員名簿（令和3年5月更新）

資料 01_白檀中学校区の再編に係る地元説明の状況

資料 02_白檀南小学校・白檀北小学校 再編案について

資料 03_再編を進めるにあたっての留意事項

資料 04_今後の検討スケジュールについて

補足資料 01_本検討審議会への諮問事項と基本的な考え方の整理

補足資料 02_学校区別の人口推計・児童数推計の方法

本検討審議会の委員名簿（令和3年5月更新）

所属・役職	氏名
学識 (元奈良県教育長)	フジワラ アキラ 藤原 昭
学識 (奈良教育大学 名誉教授)	シゲマツ ケイイチ 重松 敬一
学識 (奈良芸術短期大学 副学長)	アマネ トシハル 天根 俊治
学識 (天理大学 副学長)	オカダ タツキ 岡田 龍樹
学識 (元 大阪市教育委員会事務局総務部長)	ツルタ マサノリ 鶴田 勝紀
橿原市自治委員連合会会長	マスタニ サチヨ 榎谷 佐千代
橿原市自治委員連合会副会長	ヨネカワ ノリサ 米川 憲久
橿原市自治委員連合会副会長	オダ マスオ 尾田 増夫
橿原市PTA連合会代表	タツミ タカオ 辰巳 隆雄
橿原市議会 代表 (議長)	ハラヤマ ダイスケ 原山 大亮
橿原市校長会代表 (小学校校長会)	ホリモト サトコ 堀本 知子
橿原市校長会代表 (中学校校長会)	モリモト カズヒト 森本 和仁
労働者 代表(橿原市労働者福祉協議会)	サンダ タケシ 三田 剛史
公募委員	ヤマナカ フミヨ 山中 文代
公募委員	ナカジマ マサオキ 仲嶋 正起

以上、15名

白檀中学校区の再編に係る地元説明の状況

本日までの地元説明の経緯

本審議会は、令和2年2月より再配置実施計画に関する事項について検討を進めていました。特に、既に小規模化している白檀南北小学校の再編案について審議していましたが、新型コロナウイルスの影響により、白檀中学校区の保護者や地域の方に対する説明を十分行うことができず、先行して審議会で審議することは難しいと判断し、令和2年8月の第3回検討審議会にて、「今後、地域への説明を十分に行ってから再開すること」の了承を頂きました。

その後、本日までの約1年間、白檀南北小学校の再編案について、地元説明を行い、一定の理解を得られましたので、説明の経緯を報告します。

前回検討審議会までの経緯		
	回数	審議内容
令和2年	2月25日 第1回 檀原市教育施設再配置検討審議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諮問・実施計画検討について ・ 再編の進め方について(白檀南・白檀北小学校) ・ 今後の検討スケジュールについて
	6月30日 第2回 檀原市教育施設再配置検討審議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 白檀中学校区の再編の進め方及び諸課題への対応について ・ 再編にかかる跡地活用について
	8月25日 第3回 檀原市教育施設再配置検討審議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再編に関する今後の進め方について

第3回にて、地域への説明が十分に行えていない状況で議事を進めることが困難になった旨を説明。
今後、地域への説明を十分に行ってから審議会を再開する。

前回検討審議会以降における地元説明の流れ		
令和2年	11月	➤ 白檀幼稚園の保護者説明会で白檀中学校区の再編パターンについて説明
		➤ 白檀南小学校の保護者説明会で白檀中学校区の再編パターンについて説明
		➤ 白檀北小学校の保護者説明会で白檀中学校区の再編パターンについて説明
		➤ 白檀中学校の保護者説明会で白檀中学校区の再編パターンについて説明
		➤ 上記説明にて、白檀中学校区の学校再編についての保護者アンケート実施※資料03参照
令和3年	2月	➤ 白檀幼小中の各PTA代表に対し、アンケート結果の報告及び今後の方向性を説明
	6月	➤ 白檀地区自治会に対し、白檀南北小学校の再編案を説明※資料02参照
		➤ 白檀幼小中の各PTA代表に対し、白檀南北小学校の再編案を説明
		➤ 檀原市自治委員連合会理事会にて、白檀南北小学校の再編の方向性を説明
7月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 檀原市PTA連合会役員会にて、白檀南北小学校の再編の方向性を説明 ➤ 白檀幼稚園・白檀南小学校・白檀北小学校・白檀中学校の保護者に対して「白檀南北小学校の再編案」を配布 	

令和3年8月(本日) 第4回檀原市教育施設再配置検討審議会 再開

白檀南小学校・白檀北小学校 再編案について

令和3年7月

檀原市教育委員会事務局 教育総務課

はじめに

少子化による児童生徒数の減少により、学校をとりまく環境は大きく変化しています。

檀原市の小学校の児童数は人口急増期の1982年では12,991人でしたが、39年後の2021年には5,954人と約半数に減少している状況となっています。

また、小学校16校のうち8校の学校で11学級以下となっています。

平成31年3月に策定した檀原市教育施設再配置基本方針ではクラス替えができなくなるなどの理由から、11学級以下の学校を小規模校とし、全ての学年で複数学級となるよう、再編を進めていくことを示しました。

施設についても人口急増期に合わせて建設された建物が多く、小学校、中学校ともに築年数が40年を越える校舎がほとんどです。

今後は檀原市教育施設再配置基本方針の考え方を基に学校の再編を進め、一定の子ども的人数を確保するとともに、施設の改修を行うことでハード面、ソフト面ともに子どもたちの教育環境を整備し、魅力ある学校の実現を目指します。

なお、再編の際には保護者の方や、地域の皆様と十分な協議を行いますので、よりよい教育環境の整備に向けてお力添えをくださいますよう、お願い致します。

檀原市教育施設 再配置基本方針の 基本的な考え方(抜粋)



規模について

40人(小学1年は35人)1学級の学級編制を行い、学校あたり12~18学級を檀原市の適正な規模とする

※令和3年4月1日の「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」の一部改正により、段階的に全ての学年で35人学級となるよう編制を進めていきます。



通学距離について

小学校の通学距離は概ね4kmまでとする

よりよい教育環境の整備について

近年の教育内容・方法に適応する改修を行い、魅力ある学校づくりを行う

余裕教室を他の公共施設と複合化して活用する場合は、各施設の管理区分等の明確化や総合的な防犯・防災対策等に留意して、地域とともにある学校づくりを行う。



檀原市の公立小学校をとりまく現状

令和3年度では市内公立小学校のうち、最も児童数が多い学校は真菅小学校で651人、最も少ない学校は香久山小学校で114人となっています。白檀南小学校の児童数は115人と、香久山小学校に次いで2番目に少ない児童数となっており、白檀北小学校の180人は3番目に少ない児童数となっています。

表：令和3年度の市内公立小学校の児童数と学級数（5月1日現在）

	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計		築年数
	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	
畝傍南小	64	2	56	2	61	2	75	3	69	2	66	3	391	14	24年
畝傍北小	34	1	52	2	59	2	46	2	51	2	51	2	293	11	47年
鴨公小	20	1	29	1	38	2	41	2	42	2	47	2	217	10	46年
晩成小	53	2	58	2	47	2	58	2	48	2	37	1	301	11	43年
耳成小	88	3	57	2	81	3	66	2	72	2	71	2	435	14	44年
今井小	46	2	66	2	40	1	57	2	65	2	27	1	301	10	49年
真菅小	98	3	95	3	97	3	127	4	108	4	126	4	651	21	42年
金橋小	80	3	77	3	63	2	79	3	68	2	70	3	437	16	40年
香久山小	14	1	21	1	14	1	19	1	27	1	19	1	114	6	38年
新沢小	24	1	35	1	32	1	39	2	31	1	38	2	199	8	43年
耳成南小	96	3	103	3	114	4	115	4	95	3	93	3	616	20	47年
真菅北小	89	3	106	4	89	3	101	3	108	3	97	4	590	20	45年
畝傍東小	106	3	104	3	94	3	105	3	106	4	129	4	644	20	44年
耳成西小	67	2	78	3	64	2	76	3	89	3	96	3	470	16	40年
白檀南小	22	1	12	1	16	1	26	1	15	1	24	1	115	6	46年
白檀北小	29	1	32	1	27	1	39	2	31	1	22	1	180	7	38年
合計	930	32	981	34	936	33	1069	39	1025	35	1013	37	5954	210	

※築年数は令和2年度末時点における主な棟の経過年数を表記しています。

課題の整理

学校の小規模校化

児童数の減少により学校の小規模校化が進み、一定の児童数が確保できないため、クラス替えができないことや、グループ学習などの多様な学習形態を取り入れにくいこと、運動会や修学旅行などの学校行事や児童会活動、クラブ活動などに制限が生じてしまうことを課題として捉えています。

施設の老朽化

築40年を超える施設が多く、今後も長期的に校舎を使用する場合は改修が必要となります。

白檀南北小学校の再編について

白檀南小学校と白檀北小学校については、児童数の減少によりすでに小規模校となっていることや、施設の老朽化が課題となっていること、また、施設が隣接していることから以下に示す通り再編を進めていきます。なお、統合の手順や方法についての詳細は今後、協議のうえ決定します。

令和6年度に白檀南小学校地で統合し、
令和7年度の白檀北小学校舎の改修後に移転します

2校の再編については既存の学校施設の状況や周辺環境などを含め、総合的に検討した結果、白檀北小学校の校舎を改修し、統合小学校の運営を目指します。

なお、現段階では白檀北小学校舎の改修については、令和4年度から設計、6年度から改修工事を進めることを検討しています。そのことから、工事中の安全確保を図るため、令和6年度に白檀南小学校で統合校を開校し、令和7年度の改修完了後に白檀北小学校舎へ移転する予定をしています。

白檀北小学校の校地を活用する主な理由

- ・白檀南小学校と比べ、白檀北小学校は校舎の築年数が浅く、また、教室数も多く十分なスペースを確保できます。
- ・通学距離が最大約2kmに収まり、徒歩30分圏内の通学経路となると考えられます。
- ・統合後も余裕教室があるため、放課後児童クラブを併設することが可能です。
- ・白檀幼稚園と隣接していることから、幼稚園と小学校の連携が行いやすいと考えます。

再編までのスケジュール（予定）

令和3年度から保護者や地域などへ統合案の説明を順次行い、皆さまからの意見を十分に聞いた後に実施計画を策定します。

再編までのスケジュール（予定）					
項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
施設整備に関するスケジュール	実施計画策定 住民説明	改修設計		改修工事 竣工	改修後の校舎で運営
運営等に関するスケジュール		再編校の体制等検討 (学校の名称・校歌 など)		白檀南小校舎 で統合校開校 移転	

統合後の学校について

統合校の児童数と学級数のシミュレーション

統合小学校	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
小1	51人	2	41人	2	41人	2	48人	2	38人	2
小2	44人	2	53人	2	42人	2	43人	2	49人	2
小3	43人	2	42人	2	51人	2	40人	2	39人	2
小4	65人	2	47人	2	45人	2	54人	2	42人	2
小5	46人	2	65人	2	46人	2	44人	2	53人	2
小6	46人	2	48人	2	67人	2	48人	2	46人	2
特別支援学級		3		3		3		3		3
合計	295人	15	296人	15	292人	15	277人	15	267人	15

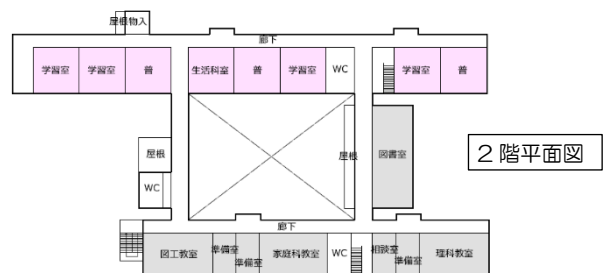
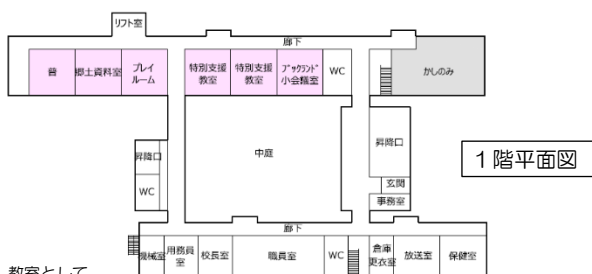
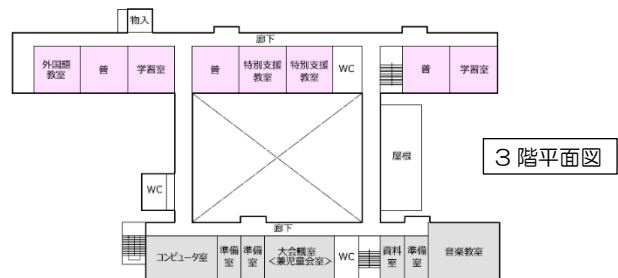
※令和4年度以降の児童数推計値は、平成27年度から令和3年度までの年齢別人口をもとに令和4年度以降の人口推計を算出し、就学率（各年齢の人口に占める児童数の割合）を乗じて算出しています。

※学級数は、令和3年4月1日の「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」の一部改正により令和7年までに小学校2年生から毎年1学年ずつ35人学級となるよう計算をしています。

※特別支援学級数については、令和3年度時点の白檀北小学校の学級数（3学級）を使用しています。

白檀北小学校の校舎（既存）

現状の白檀北小学校を見ると、教室として使える部屋は22部屋あり、統合後の必要学級数が15学級の場合でも7部屋が余裕教室となります。この余裕教室については少人数学級など、柔軟な教育活動に使用できるほか、放課後児童クラブの併設スペースとして活用することも検討します。

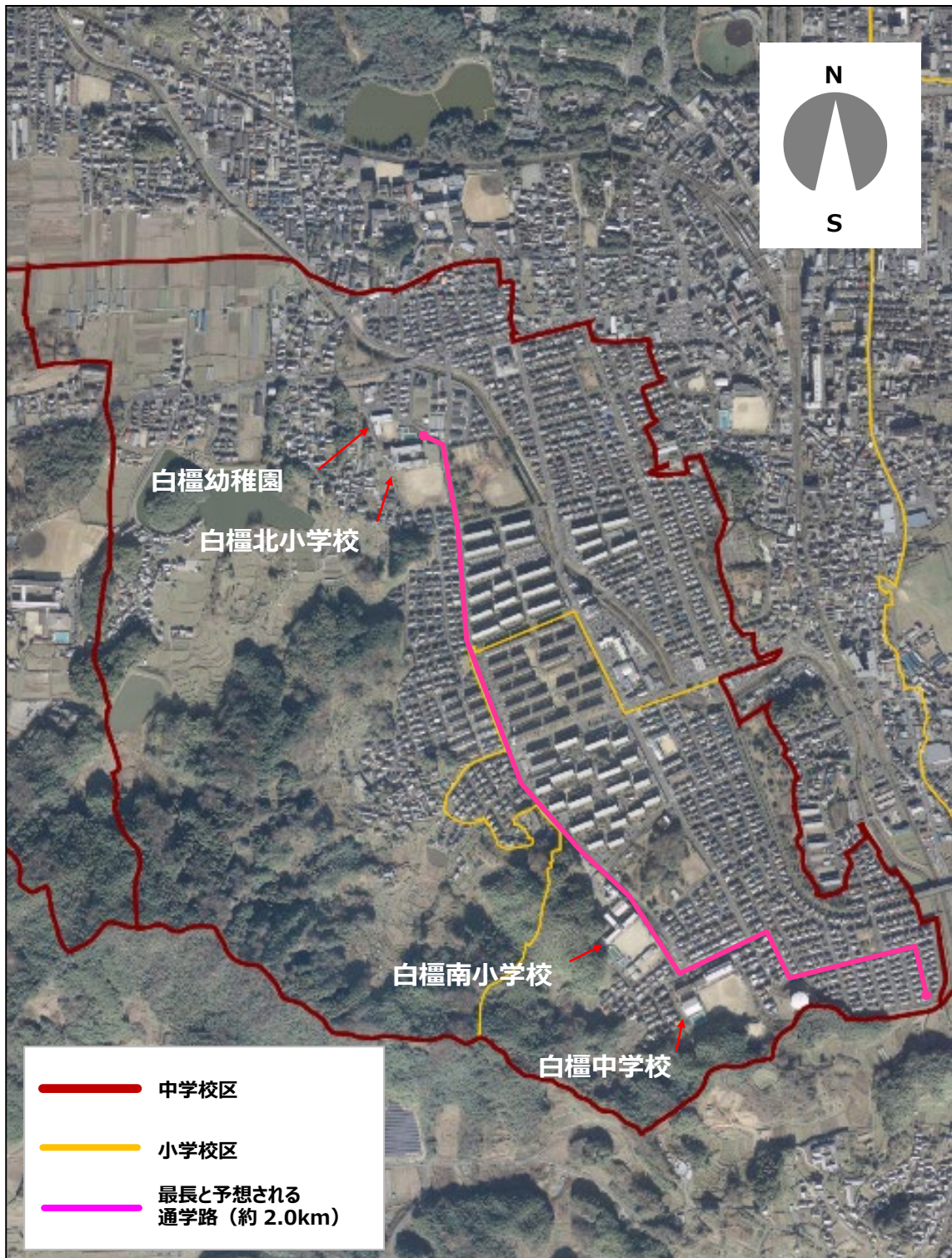


教室として
使用できる部屋

白檀北小学校の校地までの通学距離

白檀北小学校の校地までの通学距離は最大で約 2.0km となり、徒歩 30 分圏内に収まっていることから徒歩通学が可能なエリアであると考えています。

白檀北小学校の校地までの最長の通学路



統合校の運営についての協議事項



統合校の開校までに必要となる協議事項は行政主導のもと、学校、PTA、地域などで構成する統合準備委員会を立ち上げ、新しく学校を開校するうえで必要となる事項について協議していただくことを予定しています。

協議事項			関係者		
項目	事項	内容	学校	PTA	地域
通学	通学路	安全対策	●	●	●
		通学方法	●	●	●
総務	学校の名称、校章、校歌等	学校の名称	●	●	●
		校歌・校章・校旗・校訓	●	●	●
	式典行事	閉校式・開校式	●	●	●
		学校歴史等の継承	●	●	●
制服、体操服など	制服・体操服・名札等	●	●	●	
学校運営	学校運営方針・教育目標・教育課程及び学校行事	学校運営方針	●		
		学校教育目標	●		
		年間計画・学校行事計画	●	●	●
教育活動、地域交流	児童の交流活動	児童の交流	●	●	●
	学校生活のきまり	生活について	●	●	
		学習について	●	●	
学校事務	学校備品、保存文書の整理	学校図書	●	●	
		一般備品	●		
	卒業アルバムなど	行事写真、卒業アルバムなど	●	●	
PTA	PTAの組織運営	組織編制	●	●	
		規約	●	●	
		役員の選出方法	●	●	
		事業計画の立案	●	●	
その他	放課後児童クラブ	放課後児童クラブの併設	●		●

※上記の内容は一例です。必要な協議事項や協議を行う関係者については適宜調整を進めていきます。

まちづくりの観点で別途検討する事項

学校統合については地域全体に影響する検討事項も多く、特に廃校となる学校の跡地の活用方法など、まちづくりの観点で協議が必要となる項目があります。これらの事項については地域とともに十分な協議が必要なことから、別途、市の関係部局も含めて検討を進めていきたいと考えています。

- ・白檀南小学校の跡地活用について
- ・白檀中学校の今後について
- ・生涯学習施設の老朽化について

統合による教育効果

1 複数学級であれば クラス替えができる

クラス替えは子ども同士の人間関係の再構築に有効であるほか、子どもたちが心機一転して意欲を新たにできる機会にもなります。



2 集団活動の種類が 多くなる

学校生活では運動会や文化祭など、子どもたちみんなで行う行事がありますが、人数が多いほどできる種目や内容も充実します。



3 友達関係の 幅が広がる

人間関係も幅が広がり、より多くの友達と友達関係を築くことが可能になります。



4 学級同士の 切磋琢磨ができる

1学年に複数のクラスがあることで、学級という単位で活動を行い、切磋琢磨できる環境をつくることができます。



上記のほか、教職員の人数も確保できることで、経験年数や専門性などのバランスのよい教職員配置ができるとともに、教員同士の連携の機会が増え、より一層の資質向上にもつながると考えています。

施設の改修で よりよい環境に

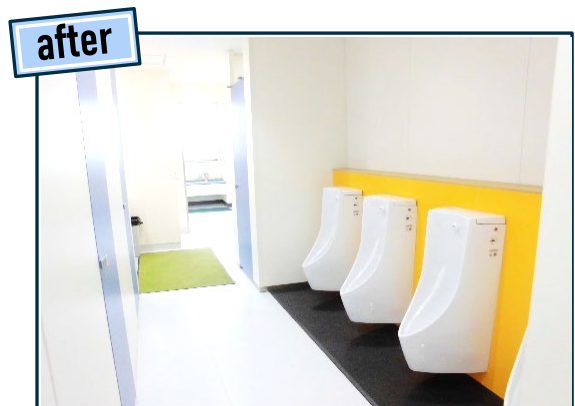
統合に伴い施設の大規模な改修を行います。内外装の美装改修を中心に機能面も向上し、清潔感のある使いやすい学校として整備します。



他自治体などの事例



教室は老朽化した床やロッカーなどを更新します。校舎内はバリアフリーにも配慮し、誰もが使いやすい空間づくりとなるよう検討します。



学校のトイレも清潔感のある使いやすいスペースへ改修します。

具体的な改修方法やスケジュールについては、今後検討していきます。

今後は保護者や地域の皆様への説明や協議を十分に行いながら、白檀南小学校と白檀北小学校の統合を進め、子どもたちにとってよりよい教育環境を提供するという観点から、魅力ある学校づくりに取り組んでいきます。

橿原市立幼稚園・小学校・中学校の位置図



橿原市教育委員会事務局 教育総務課

〒634-0075 橿原市小房町 11-5 かしはら万葉ホール 4 階

☎0744-29-5901 FAX:0744-24-9707 MAIL:kyoiku@city.kashihara.nara.jp

再編を進めるにあたっての留意事項

令和2年11月に白檀幼稚園、白檀南小学校、白檀北小学校、白檀中学校の保護者に対して再編に関するアンケートを実施し、その意見内容から、再編を進める上での留意事項を整理しました。

白檀中学校区の学校再編についての保護者アンケート

白檀中学校区内の学校園に通う子どもの保護者の方を対象に実施した、学校再編についてのアンケートの集計結果は以下のとおりです。

なお、アンケート結果については、白檀幼小中PTAの各会長に対して令和3年2月に報告しました。

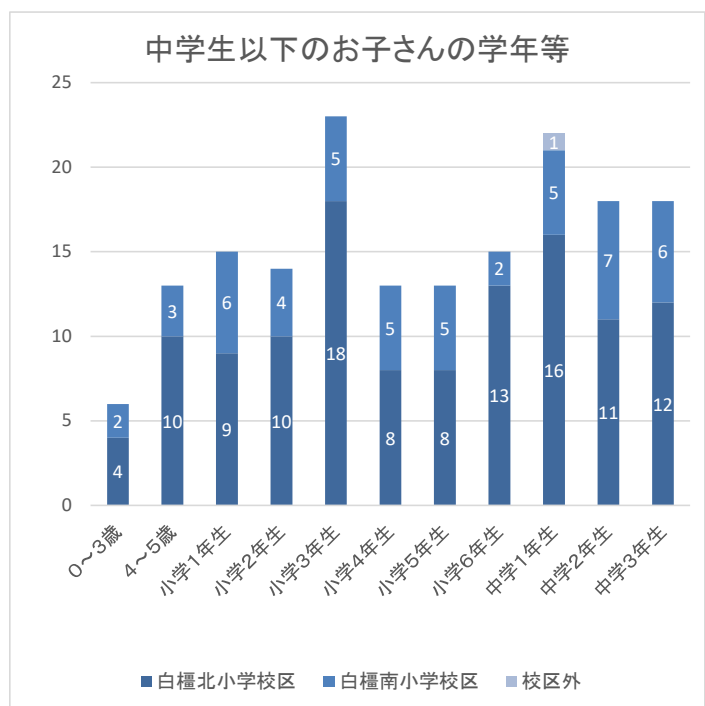
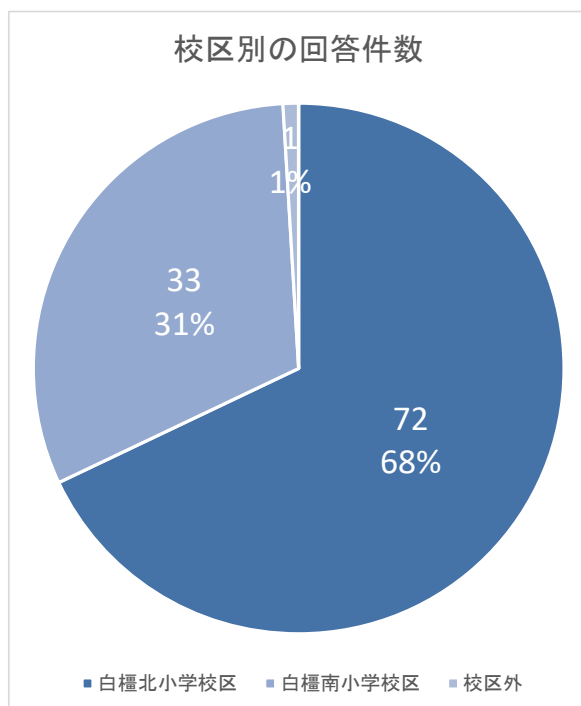
(1) アンケート実施概要

配布数467人に対し、回答者数は106人（回収率22.7%）、うち白檀南小学校区33件（31%）、白檀北小学校区72件（68%）、校区外1件（1%）となっています。

【アンケート内容】

- ・回答者の属性（お住まいの校区、中学生以下のお子さんの学年）
- ・再編後の学校でより充実してほしい教育内容や施設形態（項目選択・複数選択）
- ・学校再編を行ううえで期待すること、不安に思うこと（自由記入）

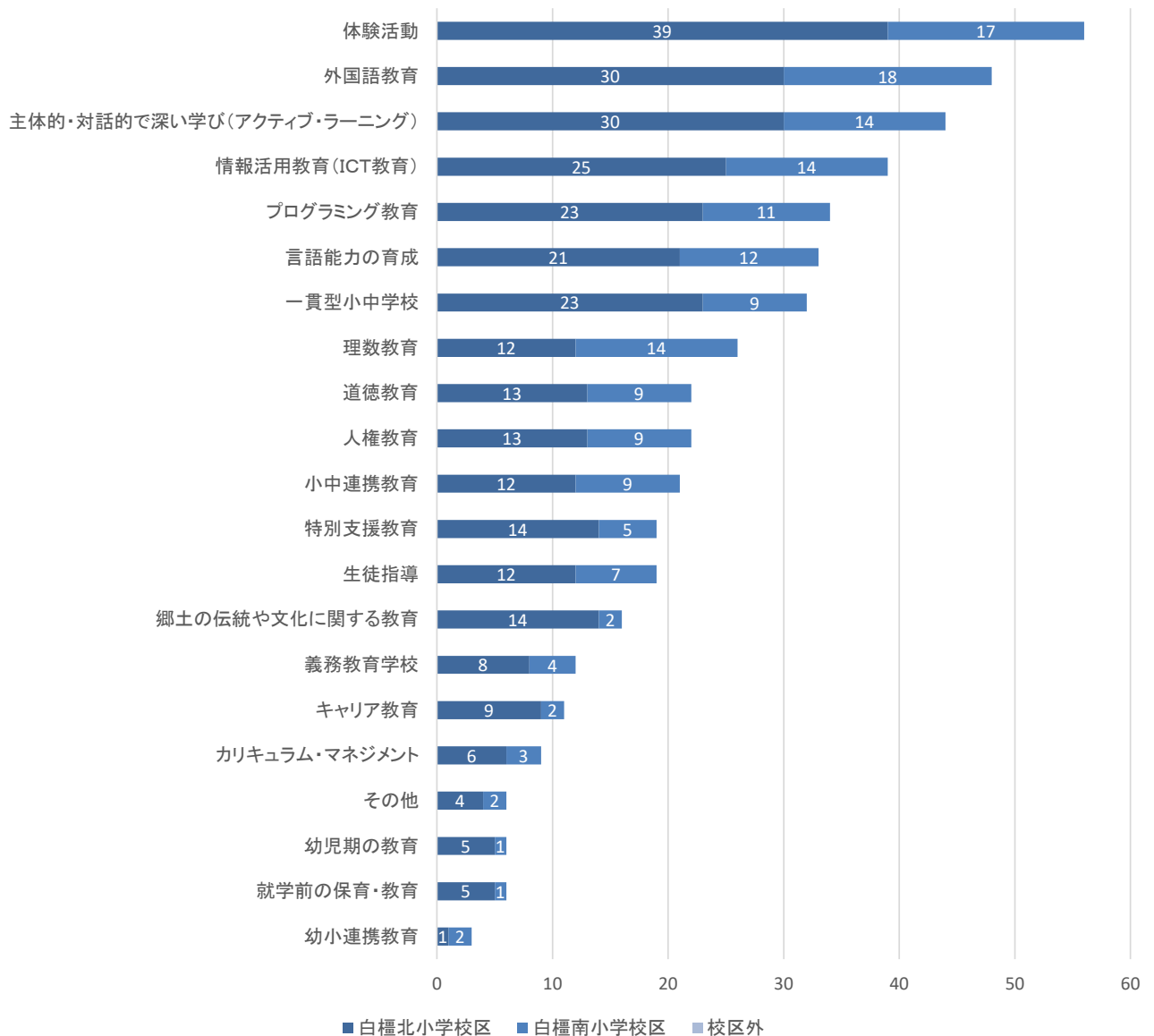
調査名	白檀中学校区の学校再編についてのアンケート		
調査対象者	白檀幼稚園、白檀南小学校、白檀北小学校、白檀中学校に通う子どもの保護者		
調査期間	令和2年11月上旬～令和2年12月15日		
調査方法	説明会及び学校園を通じて配布し、WEB回答又は記入用紙で回収		
回収結果	配布数	回答数	回収率
	467	106	22.7%



(2) 再編後の学校でより充実してほしい教育内容や施設形態（項目選択・複数選択）

教育内容については、白檀南小学校区、白檀北小学校区ともに、「体験活動」「外国語教育」「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」「情報活用教育（ICT教育）」「プログラミング教育」を充実してほしいという意見が高い結果となりました。このことから、統合し、一定の人数規模となることで、様々な集団活動を通じた体験や、相手がいることで成立する対話的な学びなど、子どもたち同士で成長し合える機会を創られることが求められているのではないかと推察されます。

再編後の学校でより充実してほしい教育内容や施設形態（項目選択・複数選択）



(3) 学校再編を行ううえで期待すること、不安に思うこと（自由記入）

期待することと、不安に思うことの自由意見の内容の抜粋を以下に示します。

自由意見の結果（抜粋）		
児童数が増えることについて	<p style="text-align: center;">期待すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 児童数が増えて、切磋琢磨して、活気ある学校生活を期待します。 ◇ 小学校2つが一緒になるならば、クラス替えもできるような人数になるでしょうし、6年間で沢山のお友達が出来たり、もしもトラブルがあった時もクラス替えでも対応できると思います。 ◇ 適正な人数の学級が学年に複数ある事により、子ども達が複数の担任に見守られながら、様々な人間関係の中で成長していけるのではないかと期待します。 ◇ 環境の変化に伴い、少しでも多くの人と関わり、色んな活動を通して主体的に取り組む事ができるようになってほしい。 ◇ 小学校は早急に統合させるべきです。クラス替えができるようになる。お友達ができるようになる。人数が多いことで様々な人間関係を養う事ができるようになる。 ◇ お友達や先生が増えることによって、より大勢の集団での行動やクラス替えなどの経験ができるようになると期待します。 ◇ 複数学級で、いろいろな人間関係を持つことができる。 ◇ 人数が増えれば世界も広がるキッカケにつながる事もあると思います。 ◇ 気の合う友達やグループが見つかりやすいかも知れないし、一人でいても複数人数が一人であれば目立たなくて良いと思います。 <p style="text-align: right;">計 36 件</p>	
	教育の質について	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 未来ある子ども達が点数のための勉強ではなく自ら学びたいと思えるような子ども主体で伸び伸びと教育ができる環境になると素晴らしいと思います。 ◇ 再編するからには今よりもいい環境であることと、充実した教育を期待する。 <p style="text-align: right;">計 13 件</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ◇ それぞれの小学校のいいところ、先生のいいところ、子ども達のいいところを共有して、合併しても、「今の方が楽しい」と思えるような学校生活になることを期待します。 <p style="text-align: right;">計 1 件</p>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 充実した教育環境を整え、公立の中でも他にはない魅力ある学校になることで白檀町の若い世代の人口増を期待します。 ◇ 白檀町の繁栄と子育てしやすい環境の維持。 ◇ 子ども達が楽しめる学校。 ◇ 小学校同士の再編では、北小学校を残す方が良いと思う。校舎、環境、コスト、あらゆる面でのメリットが高いと思います。 ◇ 幼稚園卒業後、小学校入学で一旦別れて中学校入学でまた一緒になると言う今の状況は正しくないと思いますので、難しい問題もあるかと思いますが再編が難航して地区から学校が無くなるよりずっと良いので、頑張ってくださいと思います。 <p style="text-align: right;">計 36 件</p>

自由意見の結果（抜粋）	
児童数が増える	<p style="text-align: center;">不安に思うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 今小学校は1クラスしかないので教員の目が届きやすいが、今後生徒が増えることで教員の目が届きにくくなるのではないのか心配。 ◇ 現在、小規模校なので先生方の目が行き届いた指導を受けていますが、人数が増える事でどうなるのか不安です。 ◇ 人数が増えることで、学校や授業の雰囲気は急に変わることによって子どもがついていけるかどうか。 <p style="text-align: right;">計 13 件</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 再編やカリキュラムによって、学習の進捗が遅れることがないか心配。 <p style="text-align: right;">計 7 件</p>
通学に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 校区の端に住む小学校低学年が通学するのに体力的・通学時間的に無理をしないか、心配があります。 ◇ 例えば、北小校区の1年生が中学校までの距離は、少し遠いのかな？と感じます。娘が1年生の時、学童に通っていましたが、遠いと嘆いていました。友達と一緒にいる時は楽しそうでしたが。 ◇ 同じ小学生でも1年生から6年生まで年齢にも体力などにも幅や差がある。昨日まで幼稚園児だった新1年生などには特に負担が大きいのではないですか？身体にハンディのある子なども、どうなるか？ ◇ 通学の面で遠くなる場合もあるかと思うが、登下校の安全面は大丈夫か。 ◇ 登下校の安全対策が不安です。登校距離がかなり遠くなる可能性があり、職員の付き添いや防犯カメラの設置など、様々な対策をお願いしたい。入学時から慣れるまでではなく、継続して卒業まで行って欲しい。付き添いに関しては、教員でなくとも警備員など専用の人員配置があっても良いと思う。 <p style="text-align: right;">計 26 件</p>
校風の違い	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 北と南では校時や校風も全く違うように感じる。普段から交流もないため、いきなりどちらかに合わせるのは子どもたちが混乱してしまうのではないかと思う。 ◇ 先生によって方針の違いや、他校で過ごしてきた子どもたちとのルールの違いなどがあるのではないかと不安です。 ◇ 再編することで現在の学校の良い面が損なわれないか。 <p style="text-align: right;">計 8 件</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 中学校の規模は変わらないので、部活動等は活性化が期待できない。生徒数が増えるような校区の再編を希望。10年後、20年後、再び生徒数減少などが起こり、同じようなことにならないか。 ◇ 檀原市は少子化対策が出来ていないので、今後単クラスの学年がでてくることになり、あまり統合のメリットがない。 ◇ 学校の統合による人口流出、地価の下落が心配です。 ◇ もし、将来的に白檀町から中学校が無くなると、益々若い世代が白檀町から遠退き、高齢化が進み衰退してしまうのではないかと不安です。 <p style="text-align: right;">計 39 件</p>

再編を進めるにあたっての留意事項（案）

アンケート結果などから、再編を進めるにあたっての留意事項を下記のとおりまとめました。

児童数が増えることについて

- 児童数が増えることで可能となる集団活動を充実させ、子ども同士が切磋琢磨できる環境づくりを目指します。
- 児童が増えることによりクラス替えができるなどのメリットがある一方で、教員の目が届きにくくなるのではないかという不安の声もありますが、現在の白檀南小学校・白檀北小学校と比べても、1校あたりの教職員数は増えます。また、複数学級になるため、学年として子ども達にきめ細やかな指導ができる体制を整えます。

教育の質について

- 再編後の学校でより充実してほしい教育内容として意見が多かった「体験活動」「外国語教育」「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」「情報活用教育（ICT教育）」「プログラミング教育」などの意見については、今後の教育環境の整備や学校の教育計画を立案する際に参考とします。
- 再編により学習進度の遅れについての不安の声もありますが、現在、学校では学習指導要領に基づき、年間指導計画を立てて教育活動を行っています。統合校でも同様に、学年ごとに年間指導計画を立てて教育していきます。したがって、統合による学習の遅れが生じることはありません。
- 教職員数が現在より増えることから、教職員同士の情報交換や連携を積極的に行い、教育の質の向上に努めます。また、経験年数や専門性などバランスを考えた教職員の配置を目指します。

通学に関すること

- 再編後の通学経路は、既存の通学経路を可能な限り使用しつつ、新たな通学経路については、危険箇所を確認を十分に行ったうえで、学校、PTA、地域と連携して安全対策を進めていきます。
- 通学支援については、保護者などの意見を聞きながらその必要性に応じて検討していきます。

校風の違い

- 統合校では、白檀南小学校・白檀北小学校それぞれの学校の良い部分を継承しながら、子どもたちにとって、より良い学校となるよう、学校運営方針や学校教育目標などを検討していきます。
- 統合校の開校前から、両校が合同でできる教育活動を検討し、実施していくことで、児童の交流や教職員の交流に繋げていきます。同時に、統合後も円滑な教育活動が行えるよう、準備を進めていきます。
- 統合により子どもたちはそれまでの人間関係に加えて新たな友人や教職員などとの関係づくりに取り組むことになるため、統合後も引き続き、子どもたちの様子に十分に配慮します。

その他

- 学校統合は、地域全体に影響する内容も多く、まちづくりの観点でも別途協議していく必要があります。これらの検討内容については、地域とともに十分な協議が必要なことから、市の関係部局も含めて検討を進めます。
- 統合後に再び小規模校となり、再度の統合を検討する場合は、近隣学校区の人口動向も見据えながら、中長期的な視点で慎重に検討します。
- 統合校の開校までに必要となる協議事項は、行政主導のもと、学校、PTA、地域などで構成する統合準備委員会を立ち上げ、協議していきます。

今後の検討スケジュールについて

今後の検討内容（案）

本日の審議会では、白檀南小学校・白檀北小学校の再編案及び、再編にかかる留意事項について、審議いただきました。

本審議会で検討する主な項目として、2025（R7）年度まで再編実施時期を迎える、白檀南小学校、白檀北小学校に加え、鴨公小学校、香久山小学校、晩成小学校の再編を検討し、再配置実施計画（第1期）を策定する予定をしておりました。

しかし、新型コロナウイルスの影響により検討期間が長期化したため、第1期の再編計画は、白檀南北小学校の再編に注力し、鴨公・香久山・晩成小学校の再編については、第2期（2026年度～2035年度）再編実施計画の対象とさせていただきたいと考えています。

このことから、第5回審議会では、白檀南北小学校の再編案をモデルプランとして、今後の再編を進める際の諸課題（検討手順・留意事項等）を審議していただくことを想定しています。

表 5-1：各回の議題案

回数	内容	備考
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・諮問 ・実施計画検討について ・再編の進め方について（白檀南・白檀北小学校） ・今後の検討スケジュールについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・会長の選出等 ・白檀南・白檀北小学校の再編の進め方
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・白檀中学校区の再編の進め方及び諸課題への対応について ・再編にかかる跡地活用について 	<ul style="list-style-type: none"> ・白檀南・白檀北小学校の再編に伴う課題検討
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の進め方について 	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会の一時中断及び、今後の進め方について
第4回 （本日）	<ul style="list-style-type: none"> ・白檀南・白檀北小学校の再編案について ・再編を進める際の留意事項について 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元説明の状況説明 ・白檀南・白檀北小学校の再編案及び留意事項
第5回 （案）	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の再編を進める際の諸課題の整理 ・答申書案 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の再編を進める際の課題整理
答申	<ul style="list-style-type: none"> ・檀原市教育施設再配置検討審議会答申 	<ul style="list-style-type: none"> ・R3.11月予定

本検討審議会への諮問事項と基本的な考え方の整理

諮問書

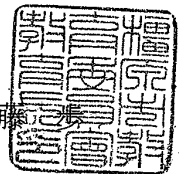


檀教総第 200 号

令和2年2月25日

檀原市教育施設再配置検討審議会
会長 様

檀原市教育委員会
教育長職務代理者 伊藤 様



諮 問 書

現在、檀原市立小中学校（以下「檀原市立学校」という。）は、小学校が16校、中学校が6校あり、今後、人口減少と少子化が更に進むことが予想される中、義務教育の機会均等や水準の維持・向上の観点を踏まえ、子どもたちが集団の中で切磋琢磨しながら学んだり、社会性を高めたりすることが難しくなる等の課題の顕在化が懸念されており、教育的な視点でこうした課題の解消を図っていくことが求められています。

また、檀原市立学校は人口急増期に集中的に整備されたため、施設の老朽化も課題となっており、今後20年で多くの建物が建築後60年を経過し、建替時期を迎えることから、今後の維持補修や更新費用なども勘案して、見直しを図らなければなりません。

つきましては、檀原市公共施設等総合管理計画を踏まえつつ、檀原市教育施設再配置基本方針に基づき、限られた人材や財源等をより効果的・効率的に活用して、檀原市立学校を計画的に再編整備し、再編後の充実した教育活動の実現に資するため、下記の事項について諮問いたします。

記

諮問事項

- (1) 2025年度までの檀原市立学校の再配置実施計画（第1期）に関する事項
- (2) 再配置実施に伴って生じることが想定される諸課題への対応に関する事項

基本的な考え方の整理

本検討審議会で諮問事項を検討していただくにあたっての、基本的な考え方を整理して示します。

檀原市教育施設再配置基本方針

平成31年3月に、教育施設の適正規模や適正配置などの基本的な考え方を中心に再配置の進め方などを示した檀原市教育施設再配置基本方針を策定しました。

基本的な考え方

規模に関する考え方

- ・40人（小学1年は35人）1学級の学級編制を行い、学校あたり12～18学級を檀原市の適正な教育施設の規模とします。

配置に関する考え方

- ・概ね4kmまでの範囲を檀原市の小学校の通学距離とします。
- ・概ね6kmまでの範囲を檀原市の中学校の通学距離とします。

よりよい教育環境の整備に際して留意すべき事項

- ・再配置に伴って施設を整備する際には、近年の教育内容・方法に適應する改修を行い、魅力ある学校づくりを行う。
- ・余裕教室を他の公共施設と複合化して活用する場合には、各施設の管理区分の明確化や総合的な防犯・防災対策等に留意して、地域とともにある学校づくりを行う。
- ・過渡期における小規模校は地域とのつながりを活かした学習・体験活動の充実や他校との連携を構築するなど、他の教育施設との教育環境に差が生じないように努める。

再配置を進めるうえでの留意事項

再配置対象校の検討

- ・再配置は学校あたりの学級数が11学級以下となる小規模校から検討を進めます。
- ・学校の統合は、原則として学校区が隣接する学校同士で実施するため、適正規模校であっても隣接する学校の小規模化により、統廃合の対象校となることもあります。

再配置における施設整備

- ・再配置の実施の際は、施設整備として施設の老朽化対策や、統合後の様々な教育環境への対応も同時に実施します。
- ・再配置の対象とならない学校についても、老朽化に応じた長寿命化改修※1を実施します。
- ・施設整備の内容は、「檀原市学校施設整備基本計画」に基づき実施します。

再配置実施計画の策定

- ・実施計画については地域と十分に協議しながら策定を進めていきます。
- ・実施計画は基本方針の対象期間38年間のうち、10年ごとに策定します。

学校の統廃合など、再配置の実施

- ・統合校の校舎は原則として、統合先の既存施設を活用します。
- ・通学区域が統合により広域化する場合は、スクールバスなどの通学支援も検討します。また、通学路の変更が生じる場合は通学上の安全対策に十分に配慮します。
- ・統合により新たな教育環境になる場合は、子どもたちの様子に十分気を配り、きめ細やかな指導ができる体制を目指します。
- ・跡地の利活用については、地域の実情もふまえ、合意形成を図りながら進めていきます。

※1 長寿命化改修：建物の構造躯体の延命を図り、従来（60年程度）よりも長期（85年程度）にわたって建物を使用し続けることを目的とした改修工事方法。

学校区別の人口推計・児童数推計の方法

推計値作成の前提条件

本来、各自治体別の人口推計を算出するためには、過去の傾向から算出した「移動率」「生存率」「出生率」が必要となり、これらの数値は、国立社会保障・人口問題研究所が全国的な傾向による調整を行った上で、公開している数値であり、檀原市のみ傾向からこれと同様の数値を得ることができない。

このことから、学校区ごとの人口推計及び児童数の推計については、国立社会保障・人口問題研究所が行っている人口推計手法に準じた簡易的な手法として、以下の方法で算出する。

<学校区分別の人口推計>

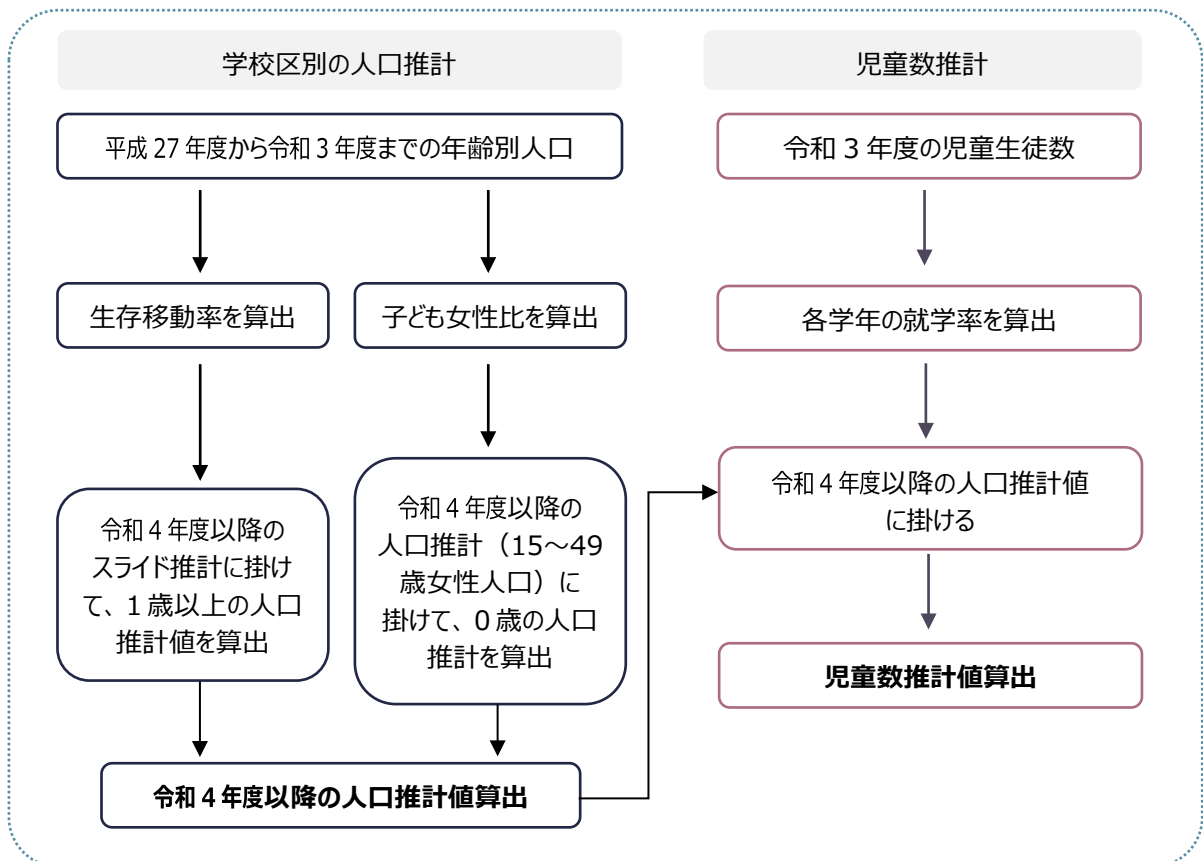
平成27年度（2015年度）から令和3年度（2021年度）までの学校区ごとの年齢別人口を元に生存移動率を算出し、それを令和4年度以降の1歳児以上のスライド推計値（令和元年度の0歳人口が令和2年度の1歳人口にスライドすると仮定）に乗じて令和4年度以降の人口推計値を算出している。また、0歳児の人口については、15歳から49歳までの女性人口推計値を算出し、子ども女性比（女性人口に占める0歳人口の割合）を乗じて算出している。

<児童数推計>

児童数推計は、人口推計の結果をもとに、直近の令和3年度時点における、各年齢（6歳から11歳）に占める児童数割合を用いて試算している。

なお、これらの手法はあくまで、平成27年度から令和3年度までの人口動態の傾向が今後も続くと仮定した場合の推計値となる。

<推計手法のフロー>



人口推計値の作成（白檀南小学校区編）

前頁に則り、小学校区ごとの人口推計値の算出過程を以下に示す。

1 歳以上の人口推計値の算出方法

①移動率と生存率をあわせた簡易的の数値として N 年の 1 歳人口が N+1 年の 2 歳人口となる割合を算出する。

平成 27 年度：0 歳人口 16 人 ⇒ 平成 28 年度：1 歳人口 15 人 生存移動率：0.94
 平成 27 年度：1 歳人口 13 人 ⇒ 平成 28 年度：2 歳人口 18 人 生存移動率：1.38
 ※以降、全年齢の 7 年間分を算出

年度 年 齢	H27	H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	平均値
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
0	-	-	-	-	-		-	-
1	-	0.94	0.85	1.17	1.11	1.00	0.83	0.98
2	-	1.38	1.13	1.27	0.93	0.95	1.00	1.11
3	-	0.83	0.89	1.24	0.93	1.00	1.00	0.98
4	-	1.53	1.00	0.94	1.05	1.00	0.85	1.06
5	-	0.68	1.22	1.10	1.00	1.00	1.00	1.00
6	-	1.16	0.95	1.04	0.91	0.80	1.05	0.98

②左記のとおり、各年齢が次の年にスライドした場合の割合を実数から算出し平均値化（太字）

※推計値は四捨五入による端数処理を行っている。

③上記平均値を令和4年度以降のスライド推計値に反映させ、下記の人口推計値を算出させる。

各年齢の実績値								人口推計値			
年度 年 齢	H27	H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
総数	3,966	3,916	3,857	3,791	3,685	3,606	3,515	3,440	3,363	3,285	3,209
0	16	13	12	19	3	6	6	8	8	7	7
1	13	15	11	14	21	3	5	6	8	8	7
2	24	18	17	14	13	20	3	6	7	9	8
3	15	20	16	21	13	13	20	3	5	6	9
4	28	23	20	15	22	13	11	21	3	6	7
5	19	19	28	22	15	22	13	11	21	3	6
6	22	22	18	29	20	12	23	13	11	21	3

※計算結果は四捨五入による端数処理を行っている。（以降、同様）

0歳の算出方法

国立社会保障・人口問題研究所では、5歳階級別人口の5年毎の数値から合計特殊出生率を算出し、0歳の人口を算出している。

本検討では簡易的な手法として、15歳から49歳人口の半数を女性と仮定し、t年の0歳人口と、同年の15歳から49歳までの女性人口の割合から子ども女性比を求め、人口推計で算出した各年の15歳から49歳までの女性人口に乗じて0歳の人口を算出する。

※国立社会保障・人口問題研究所では、t年の0歳人口を同年の15歳から49歳までの女性人口の割合で割った値を子ども女性比と定義している。

白檀南小学校区の平成27年度人口より
 15歳から49歳の女性人口：1,352人 ÷ 2 = 676人
 0歳人口：16人
 女性人口に占める0歳人口割合：0.023669（子ども女性比）

子ども女性比の算出結果									
年齢	年度	H27	H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	平均値
		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
15～49歳 総人口		1,352	1,304	1,242	1,157	1,086	1,030	970	-
15～49歳 女性人口		676	652	621	578.5	543	515	485	-
0歳人口		16	13	12	19	3	6	6	-
子ども女性比		0.023669	0.019939	0.019324	0.032844	0.005525	0.01165	0.01237	0.017903

人口推計にて算出した各年の15～49歳の女性人口の合計値に、
 子ども女性比の平均値をかけて0歳人口を算出。

年齢	年度	R4	R5	R6	R7
		2022	2023	2024	2025
15～49歳の女 性人口（推計） の合計値		456	428	397	372
子ども女性比の 平均値		0.017903	0.017903	0.017903	0.017903
0歳人口		8	8	7	7

P2.の最下段の表、青塗セル部分参照。

児童数推計値の作成（白檀南小学校区編）

各年就学率の算出

平成27年度から令和3年度までの各校区の年齢別人口と児童生徒数から、各年齢の就学率を算出する。

児童数							
年齢	H27	H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
6	19	24	17	28	20	11	22
7	16	20	24	16	28	19	12
8	27	18	21	24	16	29	16
9	19	26	17	20	25	16	26
10	22	20	27	16	20	25	15
11	19	24	21	26	17	19	24

人口							
年齢	H27	H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
6	22	22	18	29	20	12	23
7	14	21	24	17	29	19	13
8	22	16	21	24	16	30	16
9	25	26	17	19	25	16	29
10	17	19	27	16	20	25	15
11	22	22	19	27	17	19	24

各年就学率（児童数/人口）							
年齢	H27	H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
6	0.86	1.09	0.94	0.97	1.00	0.92	0.96
7	1.14	0.95	1.00	0.94	0.97	1.00	0.92
8	1.23	1.13	1.00	1.00	1.00	0.97	1.00
9	0.76	1.00	1.00	1.05	1.00	1.00	0.90
10	1.29	1.05	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
11	0.86	1.09	1.11	0.96	1.00	1.00	1.00

令和4年度以降も、令和3年度の就学率が続くと仮定し、年齢ごとの人口推計値に各年齢の就学率を掛けた結果を児童数推計値とする。

児童数推計値の算出結果

前頁までの算出過程に基づき、白檀南小学校及び白檀北小学校の児童数推計値を以下に示す。

■ 白檀南小学校の児童数実績値と今後の推計値

年度 年齢		実績値						推計値				
		H27	H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
総数		122	132	127	130	126	119	115	107	103	96	83
6	小1	19	24	17	28	20	11	22	13	11	20	3
7	小2	16	20	24	16	28	19	12	22	12	11	20
8	小3	27	18	21	24	16	29	16	13	23	13	11
9	小4	19	26	17	20	25	16	26	15	12	22	12
10	小5	22	20	27	16	20	25	15	28	16	13	23
11	小6	19	24	21	26	17	19	24	16	29	17	14

■ 白檀北小学校の児童数実績値と今後の推計値

年度 年齢		実績値						推計値				
		H27	H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
総数		195	187	186	194	195	187	180	189	189	181	184
6	小1	33	24	31	37	28	33	29	28	30	28	35
7	小2	40	34	25	31	36	28	32	31	30	32	29
8	小3	25	39	34	25	31	38	27	29	28	27	28
9	小4	28	26	41	34	25	31	39	32	33	32	30
10	小5	36	28	27	40	34	24	31	37	30	31	30
11	小6	33	36	28	27	41	33	22	32	38	31	32

■ 白檀南小学校と白檀北小学校の児童数実績値と今後の推計値の合計値

年度 年齢		実績値						推計値				
		H27	H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
総数		317	319	313	324	321	306	295	296	292	277	267
6	小1	52	48	48	65	48	44	51	41	41	48	38
7	小2	56	54	49	47	64	47	44	53	42	43	49
8	小3	52	57	55	49	47	67	43	42	51	40	39
9	小4	47	52	58	54	50	47	65	47	45	54	42
10	小5	58	48	54	56	54	49	46	65	46	44	53
11	小6	52	60	49	53	58	52	46	48	67	48	46

白檀中学校区の全人口推計結果

白檀南小学校区、白檀北小学校区の全人口の人口推計値を以下に示す。

なお、1歳ごとの人口を示すことは表が煩雑になるため、5歳階級別に集計した結果を示している。

■ 白檀南小学校区の全人口の実績値と今後の推計値

年齢別 年度	実績値							推計値				
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	
0～4歳	96	89	76	83	72	55	45	44	31	36	38	
5～9歳	102	104	108	111	105	99	94	76	81	71	54	
10～14歳	121	120	121	100	107	109	99	102	103	97	97	
15～19歳	170	167	154	135	127	119	111	108	93	93	98	
20～24歳	181	166	151	157	132	125	126	124	115	105	92	
25～29歳	164	146	132	119	119	113	101	85	91	81	80	
30～34歳	134	139	136	129	118	117	99	101	91	86	82	
35～39歳	177	168	174	166	148	130	131	124	119	118	119	
40～44歳	277	267	237	216	187	167	161	155	150	139	118	
45～49歳	249	251	258	235	255	259	241	215	197	171	155	
50～54歳	222	218	216	230	227	235	238	246	226	236	243	
55～59歳	253	248	254	242	225	213	206	204	224	226	230	
60～64歳	315	297	269	259	248	244	239	253	244	230	217	
65～69歳	496	503	493	439	385	331	303	266	263	258	254	
70～74歳	431	415	396	427	455	472	474	460	397	359	313	
75～79歳	301	324	359	387	397	410	383	365	389	404	421	
80～84歳	158	167	196	208	224	243	286	309	327	336	344	
85～89歳	83	85	84	94	95	110	121	143	156	168	178	
90歳以上	36	42	43	54	59	55	57	60	66	71	76	
全合計	3,966	3,916	3,857	3,791	3,685	3,606	3,515	3,440	3,363	3,285	3,209	
年少人口※¹	319	313	305	294	284	263	238	222	215	204	189	
生産年齢人口※²	2,142	2,067	1,981	1,888	1,786	1,722	1,653	1,615	1,550	1,485	1,434	
老年人口※³	1,505	1,536	1,571	1,609	1,615	1,621	1,624	1,603	1,598	1,596	1,586	

※1：14歳以下の人口

※2：15歳から64歳までの人口

※3：65歳以上の人口

■ 白樫北小学校区の全人口の実績値と今後の推計値

年齢別 年度	実績値							推計値			
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
0～4歳	151	139	134	114	130	134	129	126	124	113	109
5～9歳	164	165	169	157	153	163	160	153	152	157	156
10～14歳	188	180	181	177	173	157	159	164	154	153	162
15～19歳	234	232	211	200	200	203	187	190	193	183	163
20～24歳	233	224	223	202	206	196	202	182	172	178	182
25～29歳	224	211	209	183	151	166	163	167	158	154	149
30～34歳	208	198	208	214	233	223	198	177	163	136	145
35～39歳	273	269	230	214	220	204	194	201	212	230	215
40～44歳	307	297	301	287	259	262	254	227	213	217	200
45～49歳	282	290	301	307	296	307	301	300	297	266	252
50～54歳	295	281	280	269	276	266	269	289	292	285	295
55～59歳	268	281	271	284	292	291	284	276	265	274	266
60～64歳	347	327	316	286	275	271	269	264	276	279	286
65～69歳	517	525	489	428	392	336	313	305	283	272	271
70～74歳	464	446	437	487	478	505	517	485	412	375	322
75～79歳	338	347	374	387	426	443	424	414	463	461	478
80～84歳	170	187	214	242	267	285	305	331	345	371	383
85～89歳	86	93	105	106	112	120	135	158	177	193	205
90歳以上	42	42	50	61	61	59	62	78	92	102	104
全合計	4,791	4,734	4,703	4,605	4,600	4,591	4,525	4,487	4,443	4,399	4,343
年少人口※¹	503	484	484	448	456	454	448	443	430	423	427
生産年齢人口※²	2,671	2,610	2,550	2,446	2,408	2,389	2,321	2,273	2,241	2,202	2,153
老年人口※³	1,617	1,640	1,669	1,711	1,736	1,748	1,756	1,771	1,772	1,774	1,763

※1：14歳以下の人口

※2：15歳から64歳までの人口

※3：65歳以上の人口

■ 白檀中学校区の全人口の実績値と今後の推計値

年齢別 年度	実績値							推計値			
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
0～4歳	247	228	210	197	202	189	174	170	155	149	147
5～9歳	266	269	277	268	258	262	254	229	233	228	210
10～14歳	309	300	302	277	280	266	258	266	257	250	259
15～19歳	404	399	365	335	327	322	298	298	286	276	261
20～24歳	414	390	374	359	338	321	328	306	287	283	274
25～29歳	388	357	341	302	270	279	264	252	249	235	229
30～34歳	342	337	344	343	351	340	297	278	254	222	227
35～39歳	450	437	404	380	368	334	325	325	331	348	334
40～44歳	584	564	538	503	446	429	415	382	363	356	318
45～49歳	531	541	559	542	551	566	542	515	494	437	407
50～54歳	517	499	496	499	503	501	507	535	518	521	538
55～59歳	521	529	525	526	517	504	490	480	489	500	496
60～64歳	662	624	585	545	523	515	508	517	520	509	503
65～69歳	1,013	1,028	982	867	777	667	616	571	546	530	525
70～74歳	895	861	833	914	933	977	991	945	809	734	635
75～79歳	639	671	733	774	823	853	807	779	852	865	899
80～84歳	328	354	410	450	491	528	591	640	672	707	727
85～89歳	169	178	189	200	207	230	256	301	333	361	383
90歳以上	78	84	93	115	120	114	119	138	158	173	180
全合計	8,757	8,650	8,560	8,396	8,285	8,197	8,040	7,927	7,806	7,684	7,552
年少人口※¹	822	797	789	742	740	717	686	665	645	627	616
生産年齢人口※²	4,813	4,677	4,531	4,334	4,194	4,111	3,974	3,888	3,791	3,687	3,587
老年人口※³	3,122	3,176	3,240	3,320	3,351	3,369	3,380	3,374	3,370	3,370	3,349

※1：14歳以下の人口

※2：15歳から64歳までの人口

※3：65歳以上の人口